

<白金標準、米国地質調査所（USGS）の重要鉱物 60 品目が確定・・・>



（出所：オアシス）

香港で開催された香港金融サミットに参加したモルガン・スタンレーやゴールドマン・サックス CEO が株式市場に対して「今後大幅な売りが発生する可能性がある」と発言した事を受けリスク逃避の動きが加速し、ダウ平均やビットコイン、金価格などのリスク商品が売られる動きを見せ、白金標準先物も一時 7000 円を割り込み 6979 円まで下値を試している。しかし中国財務省が示したプラチナに対する 13%の付加価値税を課す動きは、ロコ・チューリッヒの価格に比べ上海黄金交易所のドル建て換算価格は 200 ドルを超えるプレミアムが発生している。また先週に英国の貴金属コンサルティング会社メタルズ・フォーカスは 2026 年初頭には一時的に約 2000 ドルまで急騰する可能性があると記載している。特にトランプ大統領が今後、通商法 232 条を基に重要鉱物に対する関税を課す基礎となる米国地質調査所（USGS）の重要鉱物 60 品目が確定した事も PGM 価格を押し上げる要因になると指摘しており、下げ渋る値動きが続くと思われる。そのため白金標準先物は、10 月以降 7000 円以下では抵抗を強めた買い戻しの値動きを続けており、19 日には WPIC 第 3 四半期 PGM 需給報告が控えている事を考慮すると 7000 円以下は買い場に思える。

<テクニカル>

白金標準先物の週足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** と **シグナル** が切り下げており、また RCI では **短期** が上昇し、**長期** は下げている。特に日足が 7000 円以下で下値を切り上げており、下値の抵抗が強い様に思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,880,000 円(2025 年 11 月 10 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 102,960 円(2025 年 11 月 10 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>